

1. 件 名：京都大学研究用原子炉（KUR）の2次冷却水配管枝管（ドレン配管）
の交換に伴う設計及び工事の計画の承認申請に係る行政相談
2. 日 時：令和4年10月5日（水） 10時00分～10時10分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議卓A（TV会議により実施）
4. 出席者：
 - （1）原子力規制庁 原子力規制部 研究炉等審査部門
立元管理官補佐、加藤上席安全審査官
 - （2）京都大学複合原子力科学研究所
教授 他3名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	あ、
0:00:02	どうぞ。はい。そうしましたら定刻となりましたので行政相談開始したいと思います。こちらにつきましては回答をこちらの方から読み上げる形としたいと思います。
0:00:16	先日のですね 9 月 20 日に行政相談のあった二次冷却水配管の枝管の補修についてでございます。
0:00:25	まず回答といたしましては、本補修に係る設工認申請は不要。
0:00:31	その理由といたしましては、本件はドレーン配管の使用について、
0:00:39	既承認と同一仕様に更新するものでありまして、フランジの仕様につきましては既承認の積工認記載に記載がなく、浮き承認の設工認における記載の変更がないことから、
0:00:53	試験の規則第 2 条の 2 第 1 項における、
0:00:59	次条第 1 項第 3 号に掲げる事項の変更を伴う工事以外の工事に該当すること。
0:01:08	2 点目といたしましては、本補修につきましては、試験研究用等原子炉における設工認手続きの範囲における、
0:01:17	工事計画手続きガイドによる設置または変更の工事の種類における、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:24	2 ポツ、工事の変更、B ポツ主義のポツ、取りかえの工事に該当するものでありまして、
0:01:32	二次冷却設備は、原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する金は該当せず、
0:01:40	耐震Cクラスであることから、2 ポツポツポツの際の手続きの要否の観点である原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器、
0:01:52	耐震重要度Sクラスの設備または機器に該当しないこと、この2点を理由に、回答といたしましては施設等に必要とさせていただきます。
0:02:03	説明の方は以上となります。
0:02:07	兵頭さんの方から何かございますでしょうか。
0:02:14	志村大学の玉井でございます。どうもありがとうございました。承りました。安全に的確に補修をしたいと思います。ありがとうございました。
0:02:23	よろしくお願いいたします。
0:02:26	そしたら補本県の行政相談につきましては以上としたいと思いますがよろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	はい。そうしましたら行政相談につきましては終わりにしたいと思 います。ありがとうございました。
---------	--

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。